

入院診療計画書② 内視鏡的膵胆管造影 (ERCP)

作成日:

患者ID: 0

医師名: 0

患者氏名: 様

看護師名: 0

日付		#####				1/1	1/2	1/3~1/6	1/7~1/8	
		検査前	検査当日術前	検査当日術中	検査当日術後	検査後1日目	検査後2日目	検査後3~6日目	検査後7~8日目	
目標						合併症の症状・所見がない			日常生活の注意点について理解できる	
		精神的準備ができています				治療について理解できる				
		転倒予防行動ができる								
投薬		今まで飲んでいたお薬は医師の指示に従って下さい。	今まで飲んでいたお薬は医師の指示に従って下さい。 ・内服許可がある場合は、起床時朝食後に内服している薬を飲んで下さい。		今まで飲んでいたお薬は医師の指示に従って下さい。					
注射			点滴をおこないます。				点滴をおこないます。			
検査	放射線				*内視鏡検査に要する時間は約1時間です。ただし手技の内容により時間は変動します。 *検査室には医師をはじめ看護師、放射線技師といったスタッフが待機しています。何かあれば遠慮なく教えて下さい。					
	検体検査	感染症の有無を確認する	感染症の有無を確認する		検査終了1時間後採血があります。	早朝に採血があります。	検査後2日目に採血を行います。	その後適宜採血行います。		
処置			*処置前に排泄を済ませてください。 *病棟で検査着に着替え、医師の指示で筋肉注射を行います。 *車椅子、またはストレッチャーで処置室へ移動します。		*バイタルサイン測定 帰室時・30分後・1時間後・2時間後施行 ・1時間後採血 ・採血結果で安静度を医師に確認します ・術後合併症の早期発見と指示の確認					
			義歯、補聴器、眼鏡などの金属類がないか確認します。	*まず胃の中をきれいにしてお薬を飲み込んでいただきます。 *次に喉の麻酔です。飲み込んでも害はありませんが、できるだけ喉の奥に5~10分間貯めておいてください。 *検査台に上がったら血圧計を巻いたり、酸素濃度を測る器械をつけます。	*ストレッチャーで病室へ移動します。					
		・術後合併症の早期発見と指示の確認								
活動・安静度 リハビリ 清潔・排泄		・治療についての説明があります。 ・安静度の制限はありません。 ・入浴ができます	・検査前に入れ歯、腕時計・指輪等の装飾品等を外してください。 ・マニキュア、ペディキュアなどは除去してください。	*検査室に入室されたら、お名前を確認をします。 *検査台はとて狭いので気を付けて上がってください。スタッフもお手伝いします。 *検査室が寒く感じるようでしたら教えてください。 *体の左側を下にして横向きになります。そのときに左腕は背中側に回して、ややうつぶせ気味になります。 *カメラが入るときはできるだけ力を抜いてゆっくり深呼吸をしましょう。	・検査後、腹痛、吐き気ありましたら、看護師へお知らせください。 ・採血結果がでるまで、ベット上で安静にしてください。 ・採血検査の結果で飲水、安静度をご説明します。 (採血結果によりトイレ洗面可、飲水可となります)	・その後、医師の指示により安静度変更になる場合があります。(その都度看護師に確認してください) ・適宜身体拭きなどの介助をいたします。(安静度によりシャワー浴も可能となるため、看護師へ確認してください。)				
				*気分不快などがありましたら、声はださず手で合図して教えてください。	苦痛症状ないか観察継続していきます。 苦痛症状が出現する場合は、すぐにナースコールで知らせて下さい。					
食事		22時以降食べたり飲んだりしないで下さい。	飲んだり食べたりできません。				採血の結果で変わります。結果がでるまで、飲んだり食べたりしないで下さい。			
コメント					*検査終了後は病棟の看護師がストレッチャーで迎えに来ます。				別紙パンフレットで今後の生活(食事・運動など)の注意点をお話します。	

※患者様の状態により、内容が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。